

入選

最初の一步

福井県 武生第一中学校
二年 敦賀 結

「SDGs」(エスディーゼーズ)。

最近よくテレビで耳にする言葉である。なにを意味するのか気になり、調べてみた。SDGsとは、2015年9月に国連サミットで決められた、2030年までの持続可能な開発目標のことだ。発展途上国だけの問題ではなく、先進国も含めた、地球上の誰一人として取り残さない、強い信念のもと進められている。

SDGsのマークは、円に17の大きな目標があり、私にも取り組める自主的な活動があるか考えてみた。私は子どもに関わる項目に関心が向いた。世界の子どものうち21パーセントが、日常的な栄養不足により発育障害に苦しんでいる。

一方、豊かな国では、肥満になる生活習慣が問題になっている。これは、地球に食料が足りていないのではなく、バランスよく配合されていないのではないかと考える。

私は、前期生徒会の副会長に選出され、生徒会でなにかできることはないか考えた。そして、フードロス削減の取り組みとして、中学校での「フードドライブ」を思いついた。

フードドライブとは、自宅で余っている食材を持ち寄り、必要としている人に提供する取り組みだ。生徒会で声をあげて、みんなの協力が得られれば、地域で支え合う活動になるのではないかと。さっそく、先生に相談した。

前期の生徒会スローガン「瞬華秀鬪～smile is the best～」にちなんで、地域貢献できれば、みんなを笑顔にできると提案した。先生方は賛同してくださった。生徒会役員で話し合い、フードドライブで集まった品を、野尻医院の「てまり茶屋」に提供することにした。

フードドライブを実施するにあたり、実際に「てまり茶屋」を訪れ、情報をもらった。「てまり茶屋」は、「みんなの食堂」として経営していて、「地域で暮らす」「地域で育つ」を地域で支えると掲げ、誰でも利用できる、地域の交流の場となっている。

食堂利用はもちろん、いこいの場としてつながることにより、心のよりどころとなる場である。説明してくださった方は、仕事終わりにボランティアで活動しているということで、熱心に話してくださり、私自身感動した。スタッフの方の想いをぜひ、中学校のみんなに話したいと思った。

そこで、全校生徒に放送・掲示物でピーアールを行った。5日間、生徒会で玄関に立ち、活動に賛同してくれた人たちのおかげで、文房具・お菓子・即席ラーメン・のりなど、50点以上もの品が集まった。

私一人ではできない活動を、みんなが協力してくれたことによって、大きな力となり、地域とのつながりができた。今度「てまり茶屋」に届けるのが楽しみだ。

今回のフードドライブの取り組みで、改善点や課題も見つかった。今回で終わりではなく、地域とつながる仕組みづくり、中学生でも身近なことでSDGsに関われることを学んだ。次の生徒会にバトンをわたせるように今後も取り組んでいきたい。

さあ、次なる一步へ。